

九州における交通・観光事業者の最新状況 (令和7年2月分までの実績)

九州運輸局
令和7年5月30日

運輸と観光で九州の元気を創ります

＜お問い合わせ先＞
九州運輸局交通政策部交通企画課
井上、野中
電話：092-472-2315
国土交通省九州運輸局HP

<https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

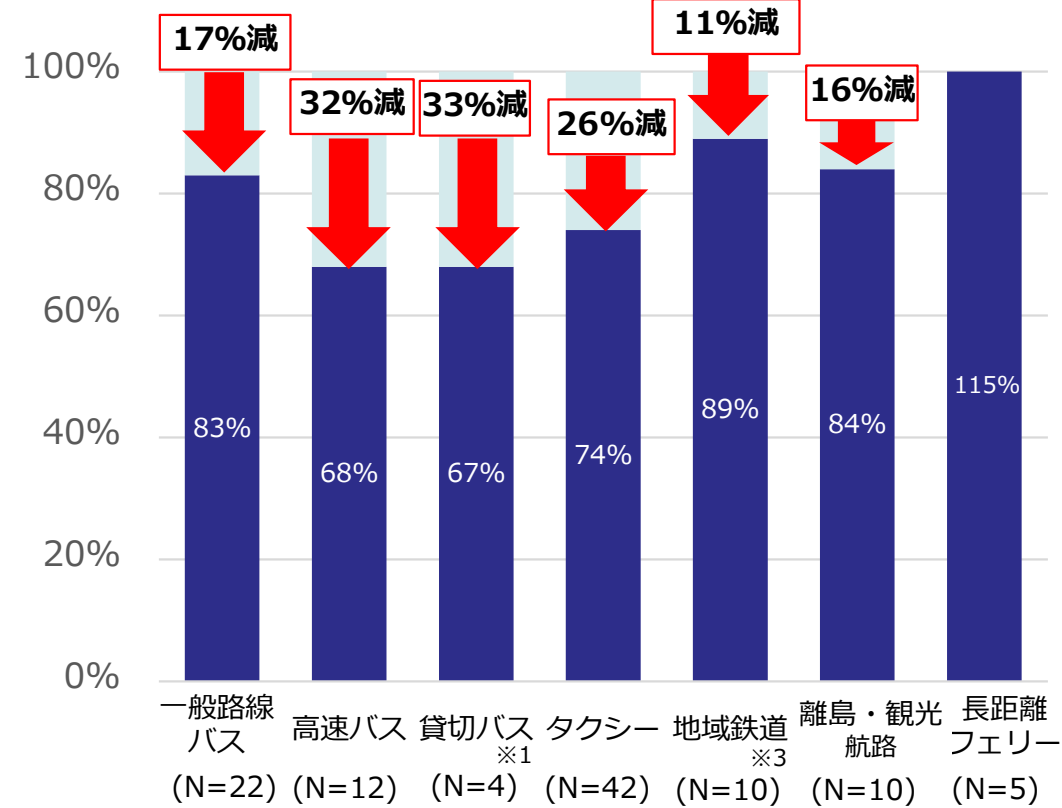


九州運輸局

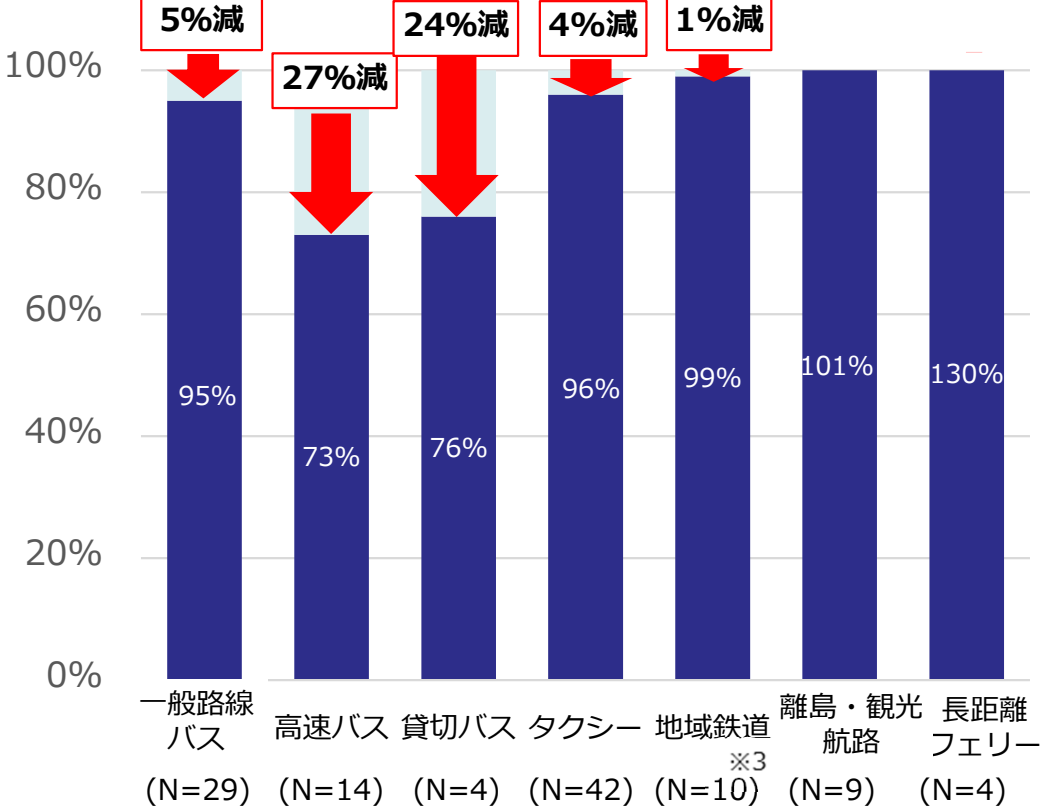
交通事業者の状況①:最新の実績(令和元年度同月比)

●R7.2月の輸送人員・運送収入は、前年同月と概ね同程度で推移しているが、長距離フェリー以外のモードでは輸送人員が令和元年同月比を下回る状況が続いている。

2月の輸送人員 (対R1同月比)



2月の運送収入 (対R1同月比)



※1 貸切バスの輸送人員に関しては、同期間の実働率の対R1年比。

※2 減少率は、回答のあった事業者の輸送人員・運送収入を足し上げて比較した業界全体の値。Nは、回答のあった事業者数。

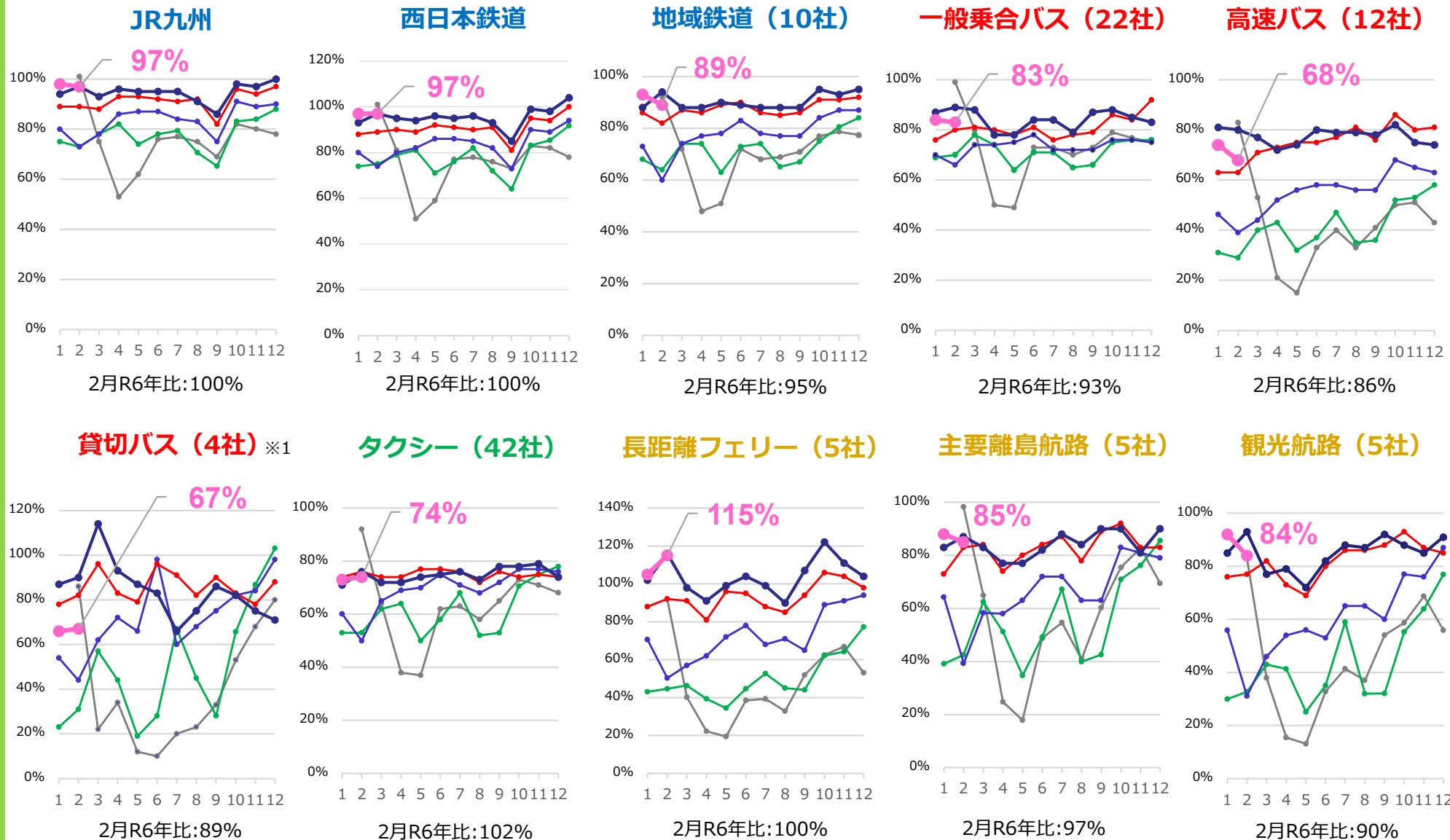
※3 地域鉄道とは、新幹線、在来幹線、都市鉄道に該当する路線以外の鉄道路線のこと（JR九州、西日本鉄道等は含まれない）。

交通事業者の状況②：輸送人員の推移(令和元年同月比)

輸送人員

(R1年比)

灰：R2/R1
緑：R3/R1
青：R4/R1
赤：R5/R1
濃青：R6/R1
桃：R7/R1



※1 貸切バスのみ「実働率 = (延実働車両数) / (延実在車両数)」のR1年比。

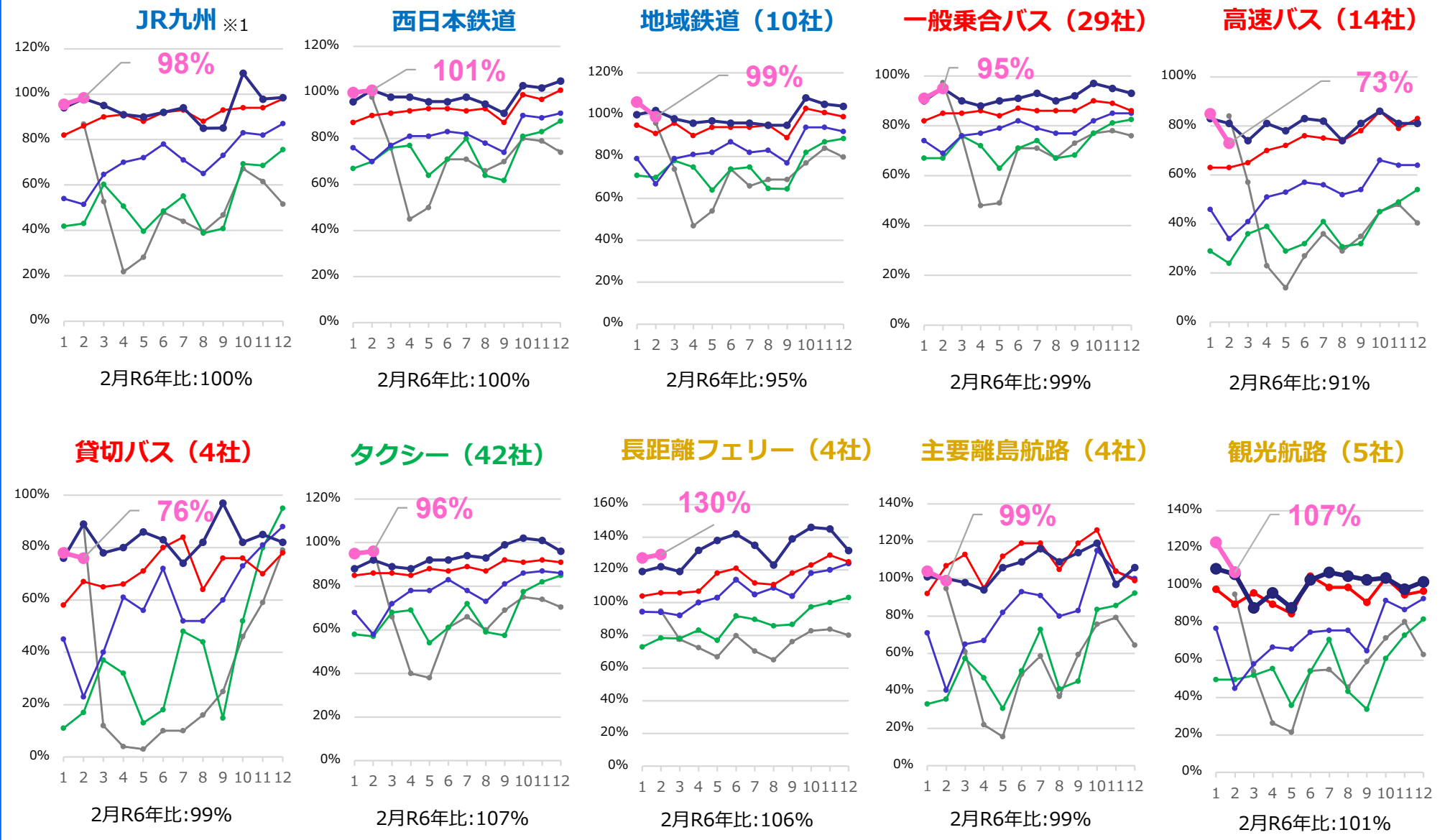
※2 暫定値の確定や追加報告の発生により、過去月のデータに（以前の記者会見時に公表したデータから）修正が生じている場合がある。

交通事業者の状況③: 運送収入の推移(令和元年同月比)

運送収入

(R1年比)

灰 : R2/R1
 緑 : R3/R1
 青 : R4/R1
 赤 : R5/R1
 濃青 : R6/R1
 桃 : R7/R1



※1 JR九州の運送収入の数値は、同社HP (<https://www.jrkyushu.co.jp/company/ir/finance/monthly/>) に掲載の運輸取扱収入の対前年比データを基に九州運輸局で算出。
 ※2 暫定値の確定や追加報告の発生により、過去月のデータに（以前の記者会見時に公表したデータから）修正が生じている場合がある。

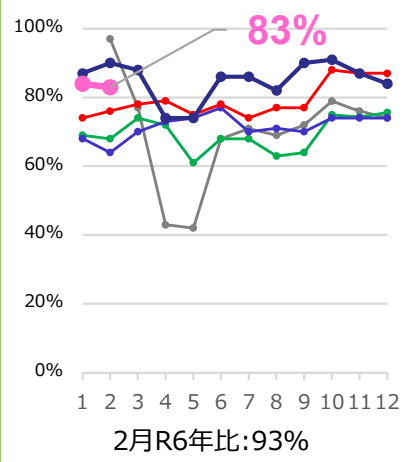
福岡県内の交通事業者の状況

輸送人員

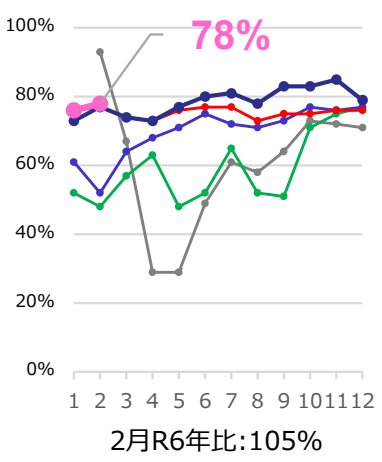
(R1年比)

灰：R2/R1
 緑：R3/R1
 青：R4/R1
 赤：R5/R1
 濃青：R6/R1
 桃：R7/R1

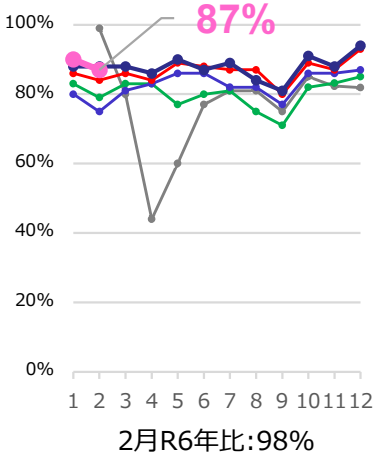
一般乗合バス（4社）



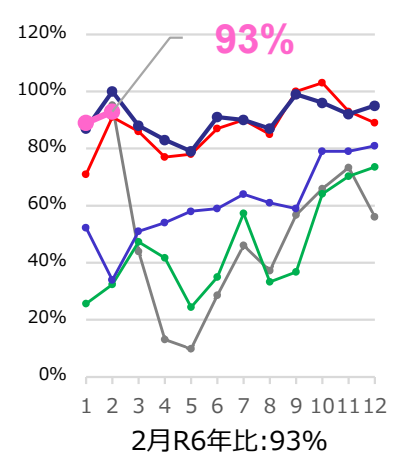
タクシー（8社）



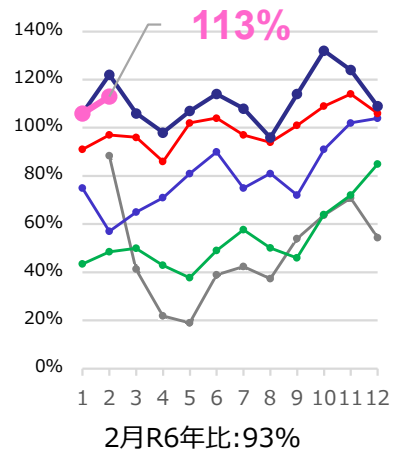
地域鉄道（3社）



離島・観光航路（2社）



長距離フェリー（3社）

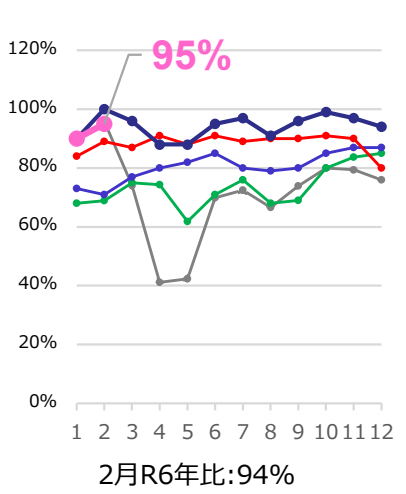


運送収入

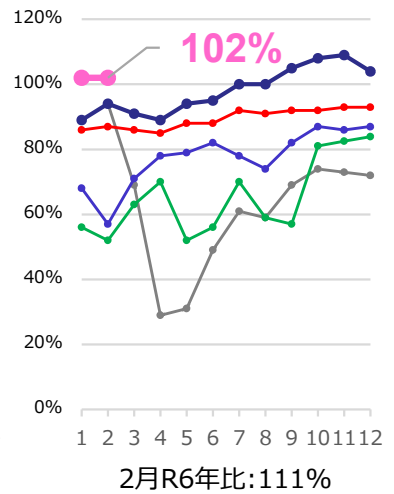
(R1年比)

灰：R2/R1
 緑：R3/R1
 青：R4/R1
 赤：R5/R1
 濃青：R6/R1
 桃：R7/R1

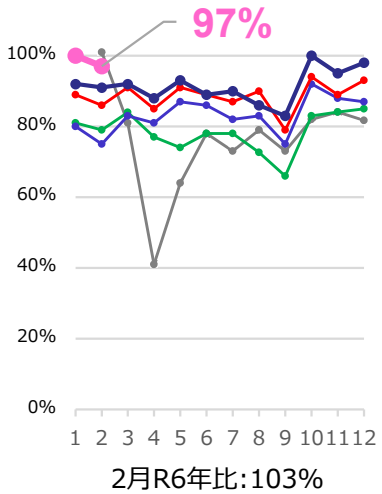
一般乗合バス（8社）



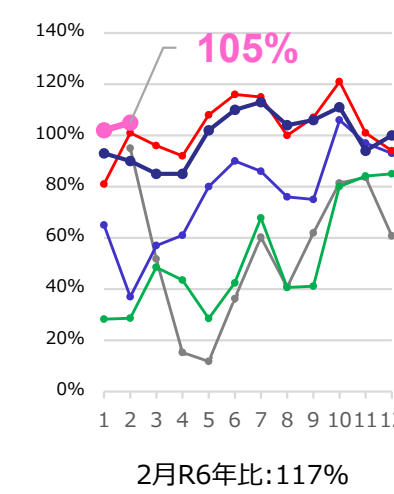
タクシー（8社）



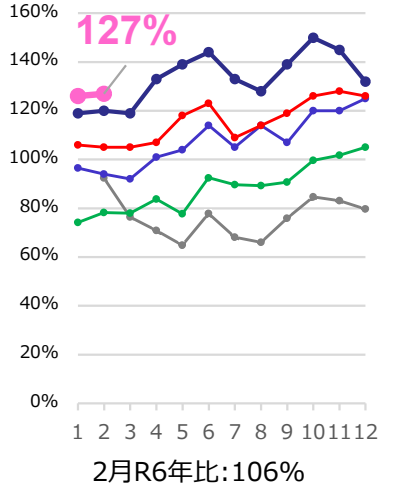
地域鉄道（3社）



離島・観光航路（2社）



長距離フェリー（3社）



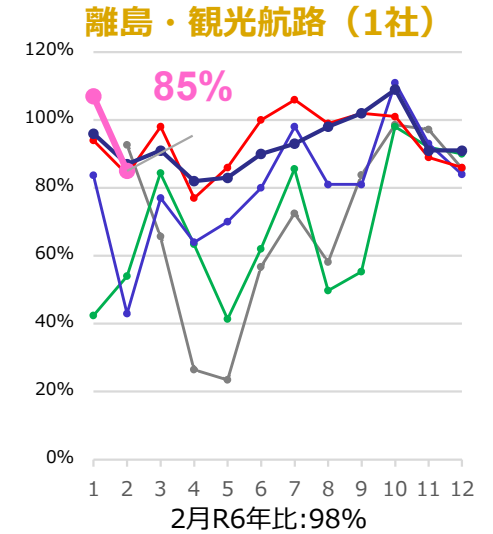
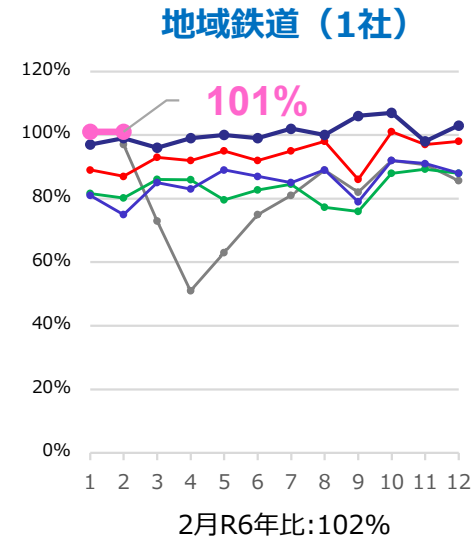
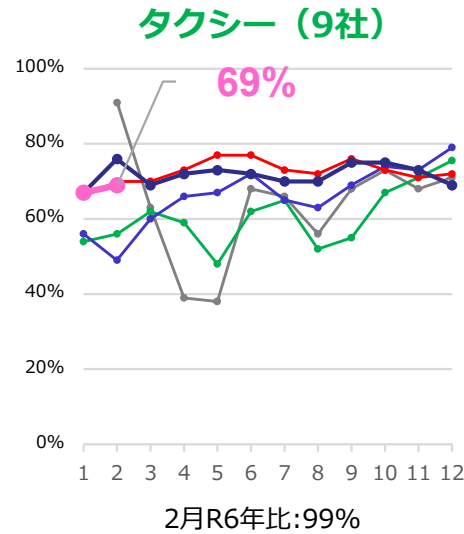
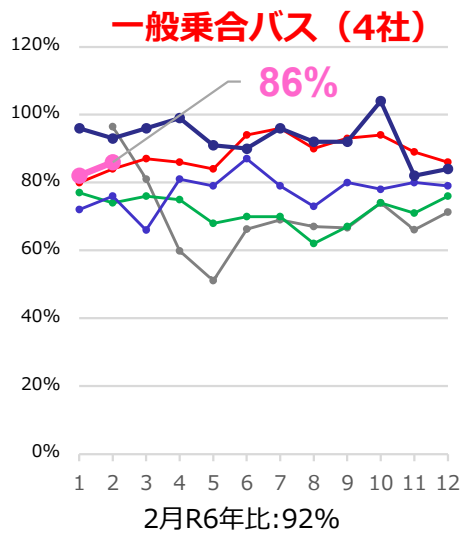
※1 暫定値の確定や追加報告の発生により、過去月のデータに（以前の記者会見時に公表したデータから）修正が生じている場合がある。
 ※2 同月R6年比は、サンプル数を合わせて算出している。

佐賀県内の交通事業者の状況

輸送人員

(R1年比)

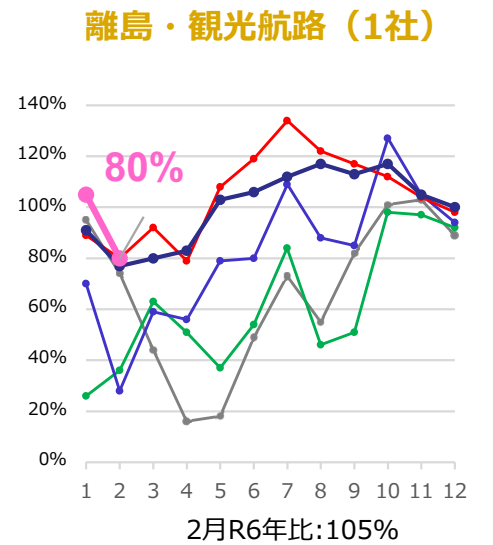
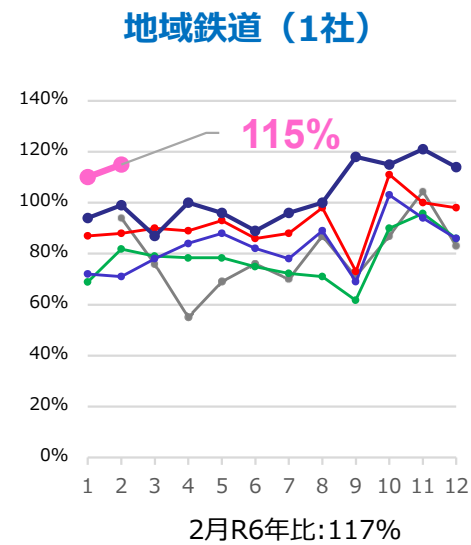
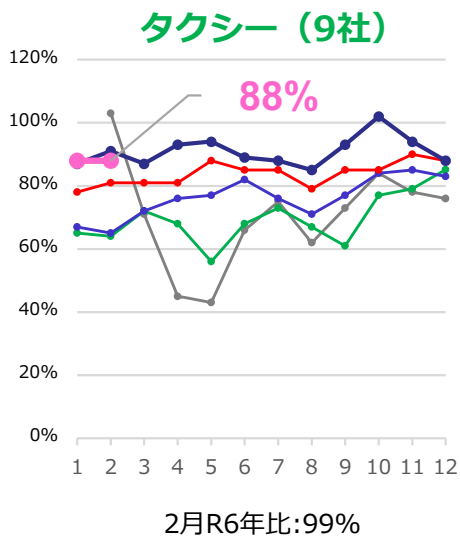
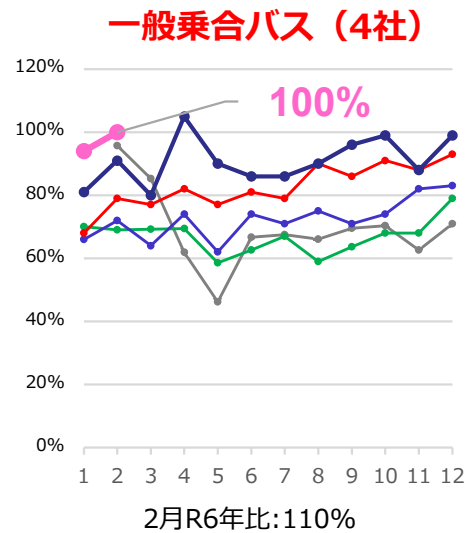
灰：R2/R1
緑：R3/R1
青：R4/R1
赤：R5/R1
濃青：R6/R1
桃：R7/R1



運送収入

(R1年比)

灰：R2/R1
緑：R3/R1
青：R4/R1
赤：R5/R1
濃青：R6/R1
桃：R7/R1



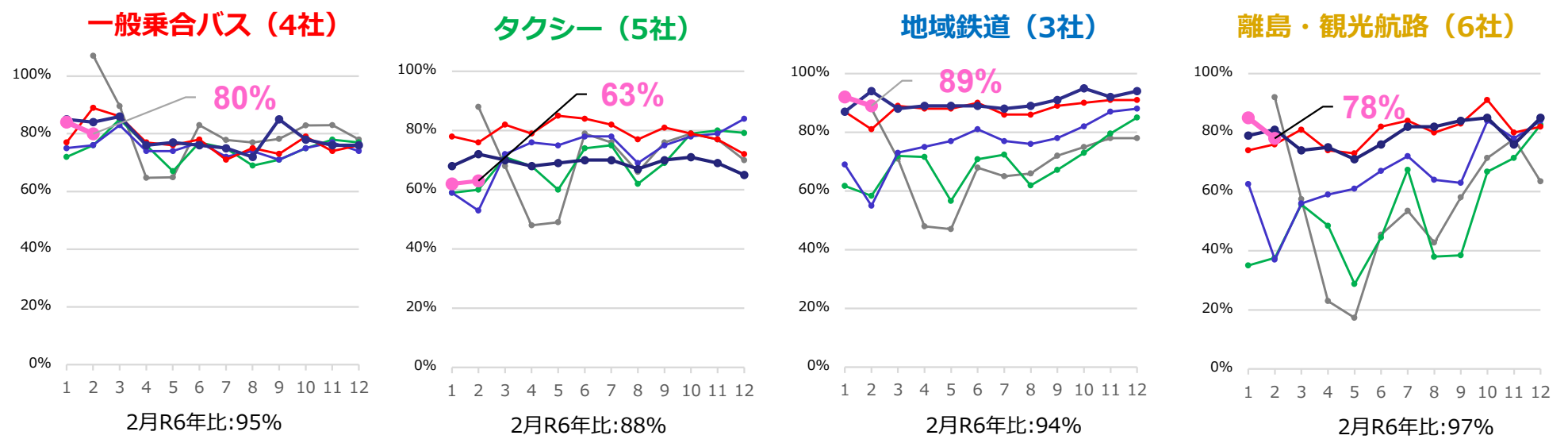
※1 暫定値の確定や追加報告の発生により、過去月のデータに（以前の記者会見時に公表したデータから）修正が生じている場合がある。

※2 同月R6年比は、サンプル数を合わせて算出している。

長崎県内の交通事業者の状況

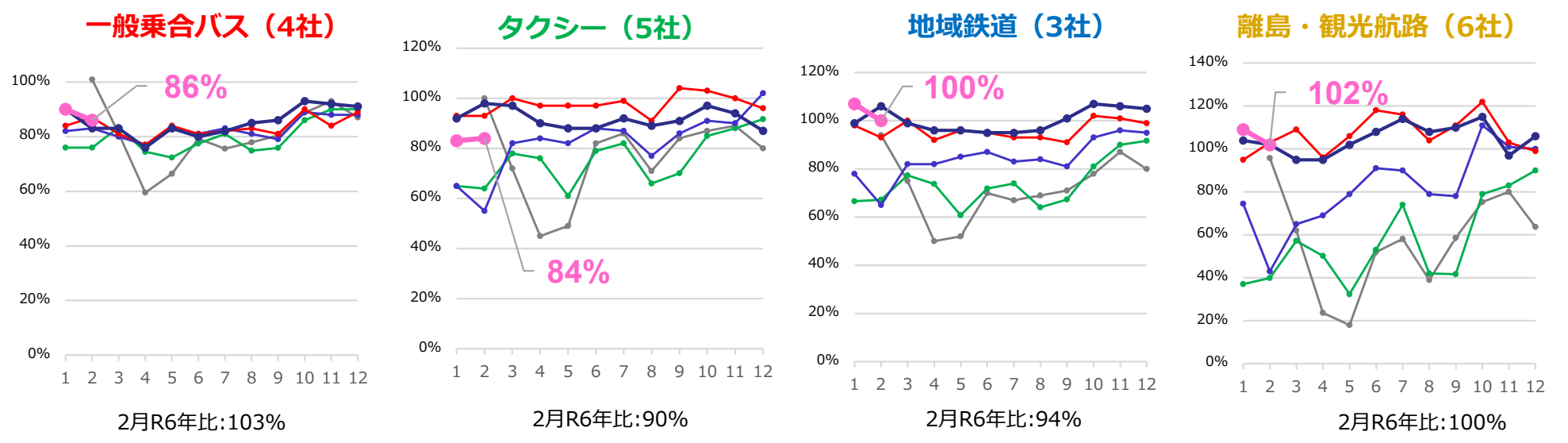
輸送人員

(R1年比)
灰：R2/R1
緑：R3/R1
青：R4/R1
赤：R5/R1
濃青：R6/R1
桃：R7/R1



運送収入

(R1年比)
灰：R2/R1
緑：R3/R1
青：R4/R1
赤：R5/R1
濃青：R6/R1
桃：R7/R1

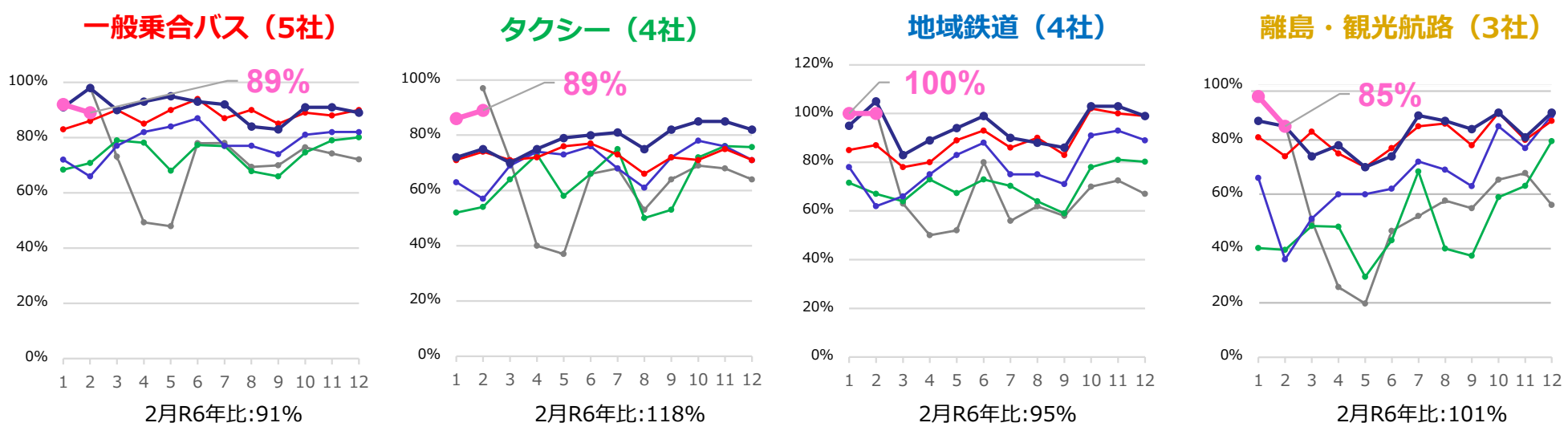


※1 暫定値の確定や追加報告の発生により、過去月のデータに（以前の記者会見時に公表したデータから）修正が生じている場合がある。
※2 同月R6年比は、サンプル数を合わせて算出している。

熊本県内の交通事業者の状況

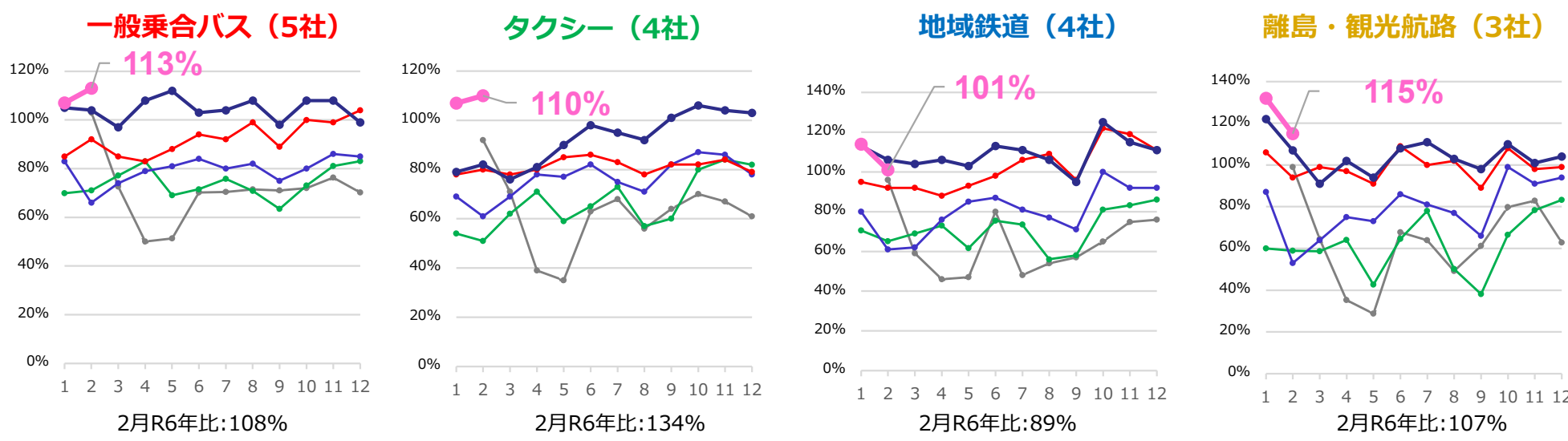
輸送人員

(R1年比)
 灰：R2/R1
 緑：R3/R1
 青：R4/R1
 赤：R5/R1
 濃青：R6/R1
 桃：R7/R1



運送収入

(R1年比)
 灰：R2/R1
 緑：R3/R1
 青：R4/R1
 赤：R5/R1
 濃青：R6/R1
 桃：R7/R1



※1 暫定値の確定や追加報告の発生により、過去月のデータに（以前の記者会見時に公表したデータから）修正が生じている場合がある。
 ※2 同月R6年比は、サンプル数を合わせて算出している。

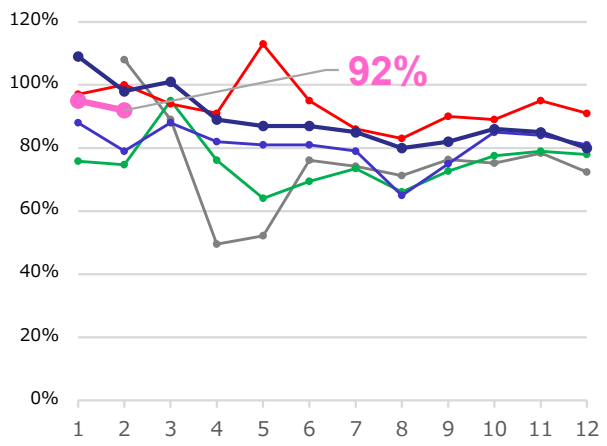
大分県内の交通事業者の状況

輸送人員

(R1年比)

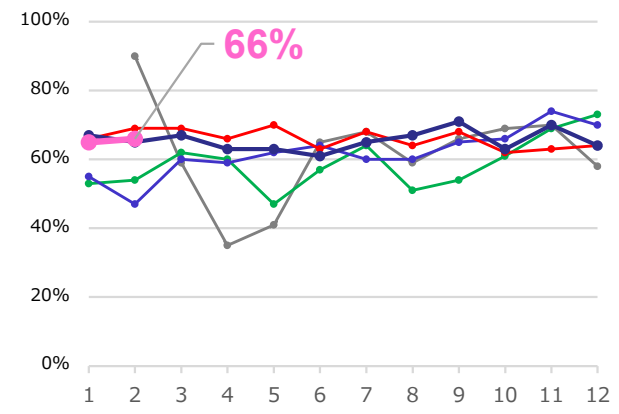
灰：R2/R1
緑：R3/R1
青：R4/R1
赤：R5/R1
濃青：R6/R1
桃：R7/R1

一般乗合バス（2社）



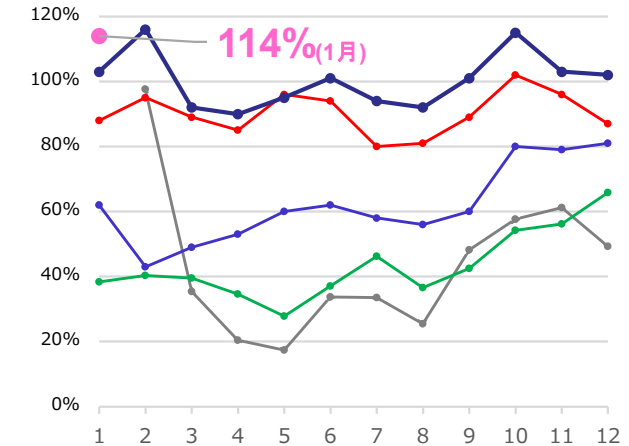
2月R6年比:94%

タクシー（5社）



2月R6年比:100%

長距離フェリー（1社）※2



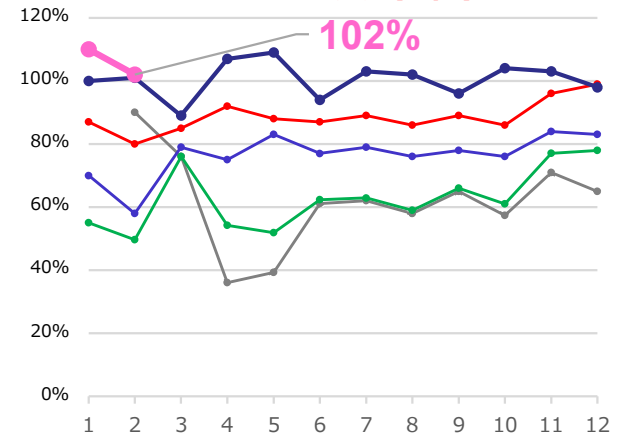
1月R6年比:110%

運送収入

(R1年比)

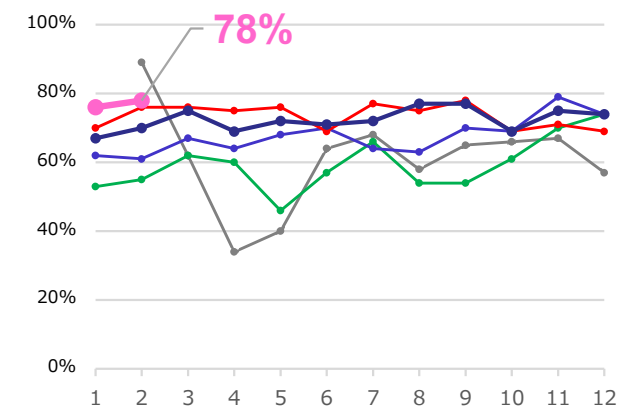
灰：R2/R1
緑：R3/R1
青：R4/R1
赤：R5/R1
濃青：R6/R1
桃：R7/R1

一般乗合バス（4社）



2月R6年比:101%

タクシー（5社）



2月R6年比:105%

※1 暫定値の確定や追加報告の発生により、過去月のデータに（以前の記者会見時に公表したデータから）修正が生じている場合がある。
 ※2 長距離フェリーのデータは「九州のうんゆ」からの引用。そのため、前月の実績が最新であり、また運送収入については「九州のうんゆ」で公開していないため、掲載していない。
 ※3 同月R6年比は、サンプル数を合わせて算出している。

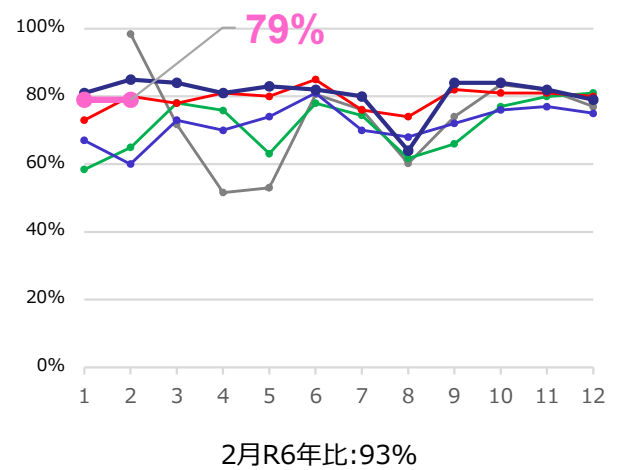
宮崎県内の交通事業者の状況

輸送人員

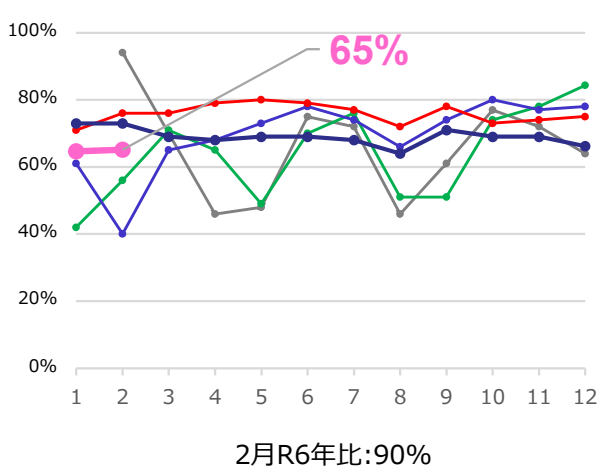
(R1年比)

灰：R2/R1
 緑：R3/R1
 青：R4/R1
 赤：R5/R1
 濃青：R6/R1
 桃：R7/R1

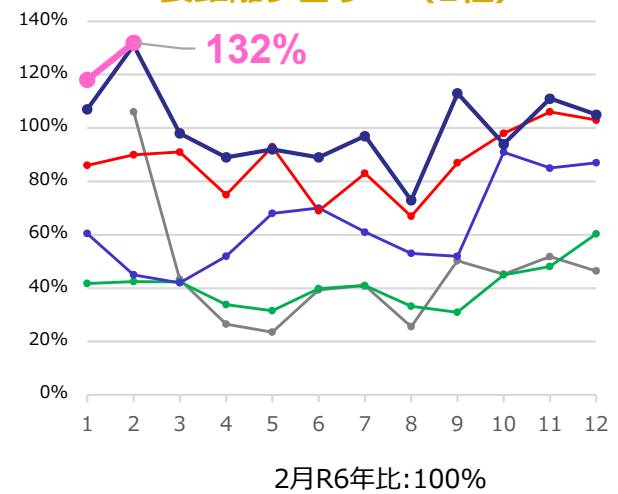
一般乗合バス（1社）



タクシー（5社）



長距離フェリー（1社）

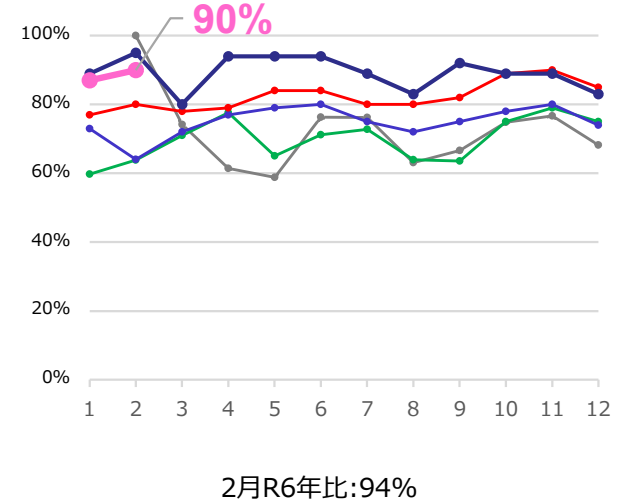


運送収入

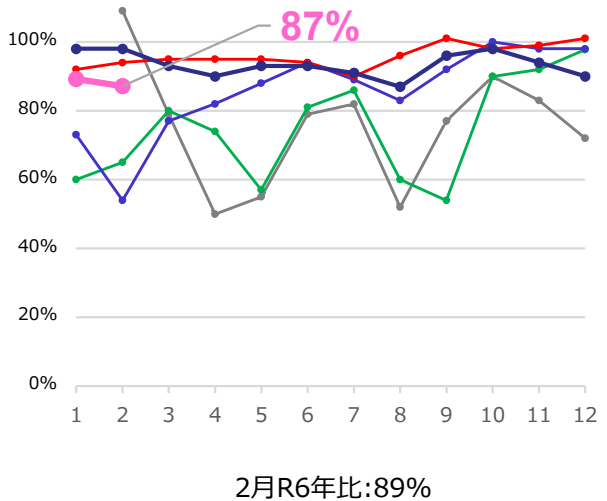
(R1年比)

灰：R2/R1
 緑：R3/R1
 青：R4/R1
 赤：R5/R1
 濃青：R6/R1
 桃：R7/R1

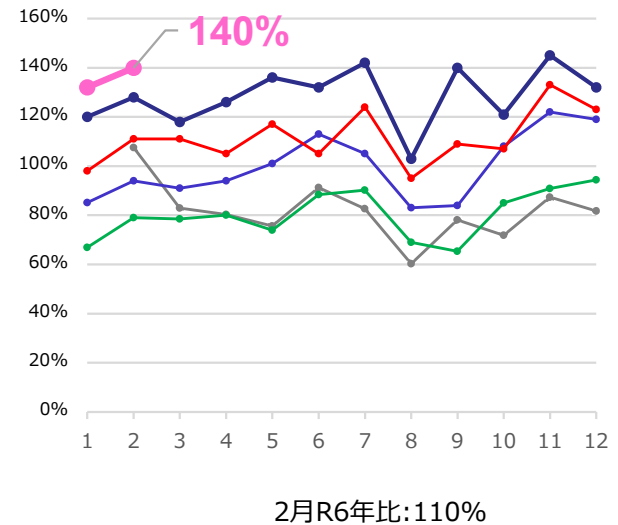
一般乗合バス（1社）



タクシー（5社）



長距離フェリー（1社）



※1 暫定値の確定や追加報告の発生により、過去月のデータに（以前の記者会見時に公表したデータから）修正が生じている場合がある。
 ※2 同月R6年比は、サンプル数を合わせて算出している。

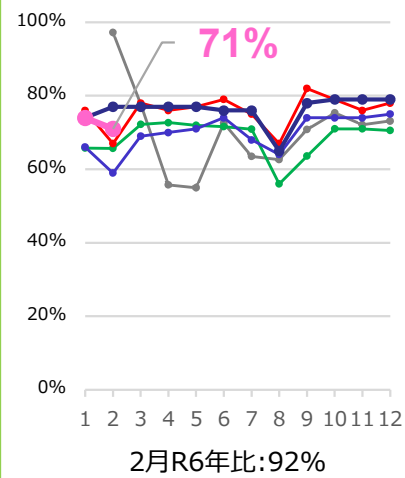
鹿児島県内の交通事業者の状況

輸送人員

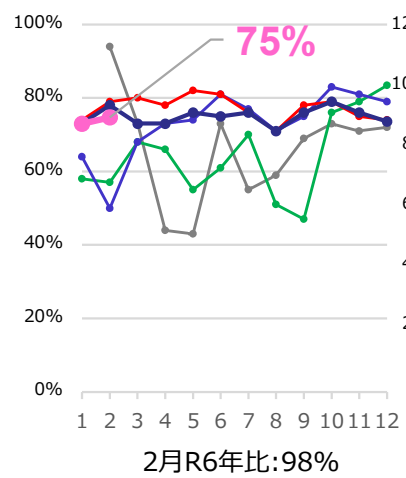
(R1年比)

灰：R2/R1
 緑：R3/R1
 青：R4/R1
 赤：R5/R1
 濃青：R6/R1
 桃：R7/R1

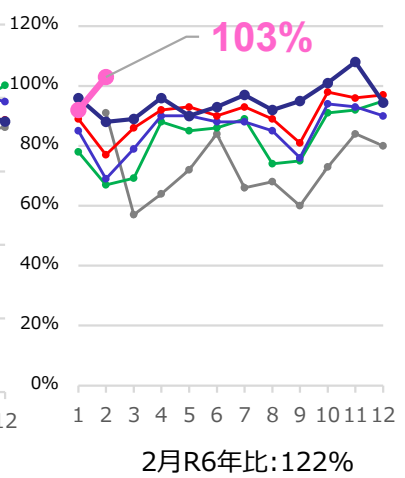
一般乗合バス（2社）



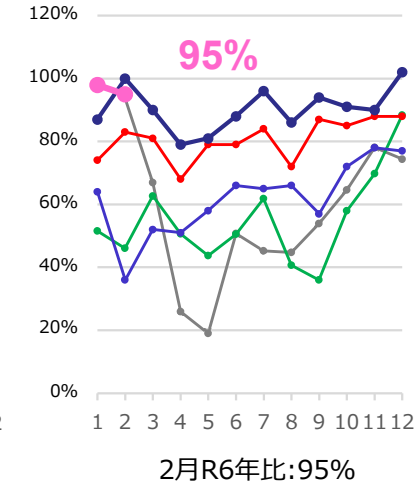
タクシー（6社）



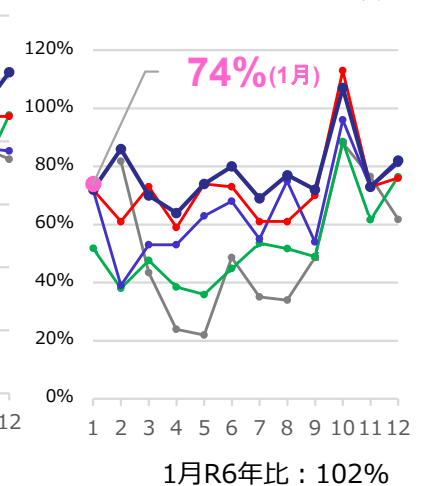
地域鉄道（1社）



離島・観光航路（2社）



長距離フェリー（1社）※2

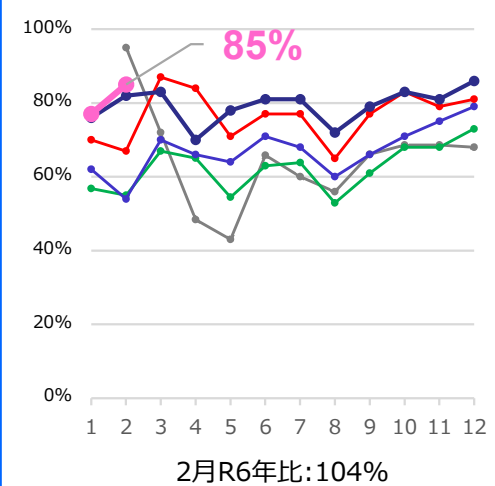


運送収入

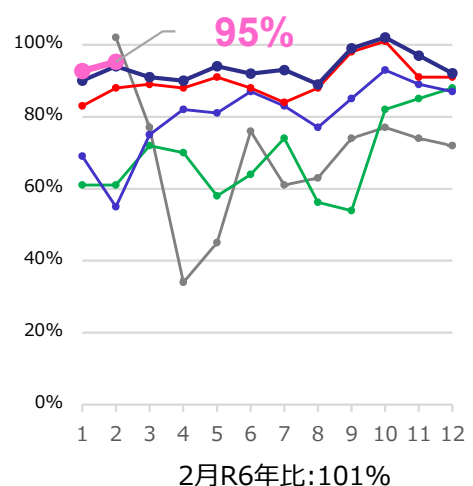
(R1年比)

灰：R2/R1
 緑：R3/R1
 青：R4/R1
 赤：R5/R1
 濃青：R6/R1
 桃：R7/R1

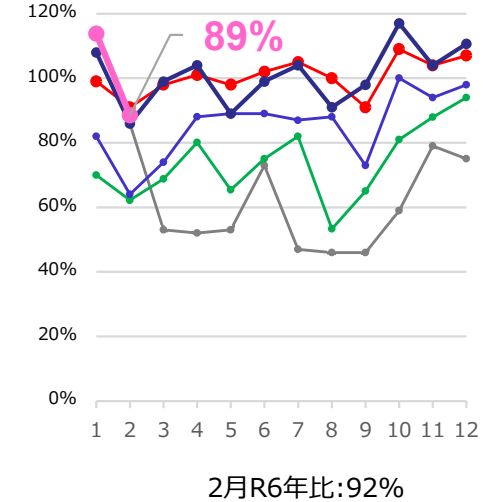
一般乗合バス（3社）



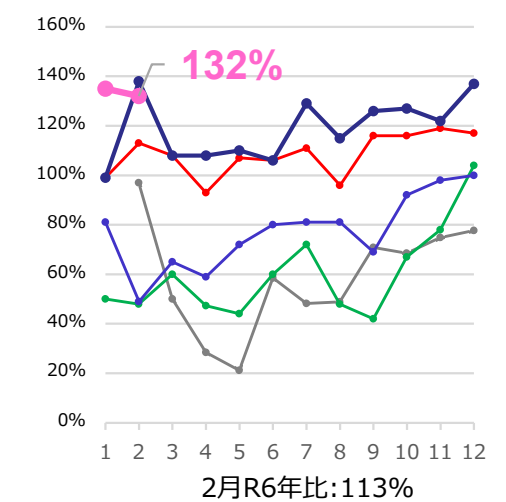
タクシー（6社）



地域鉄道（1社）



離島・観光航路（1社）

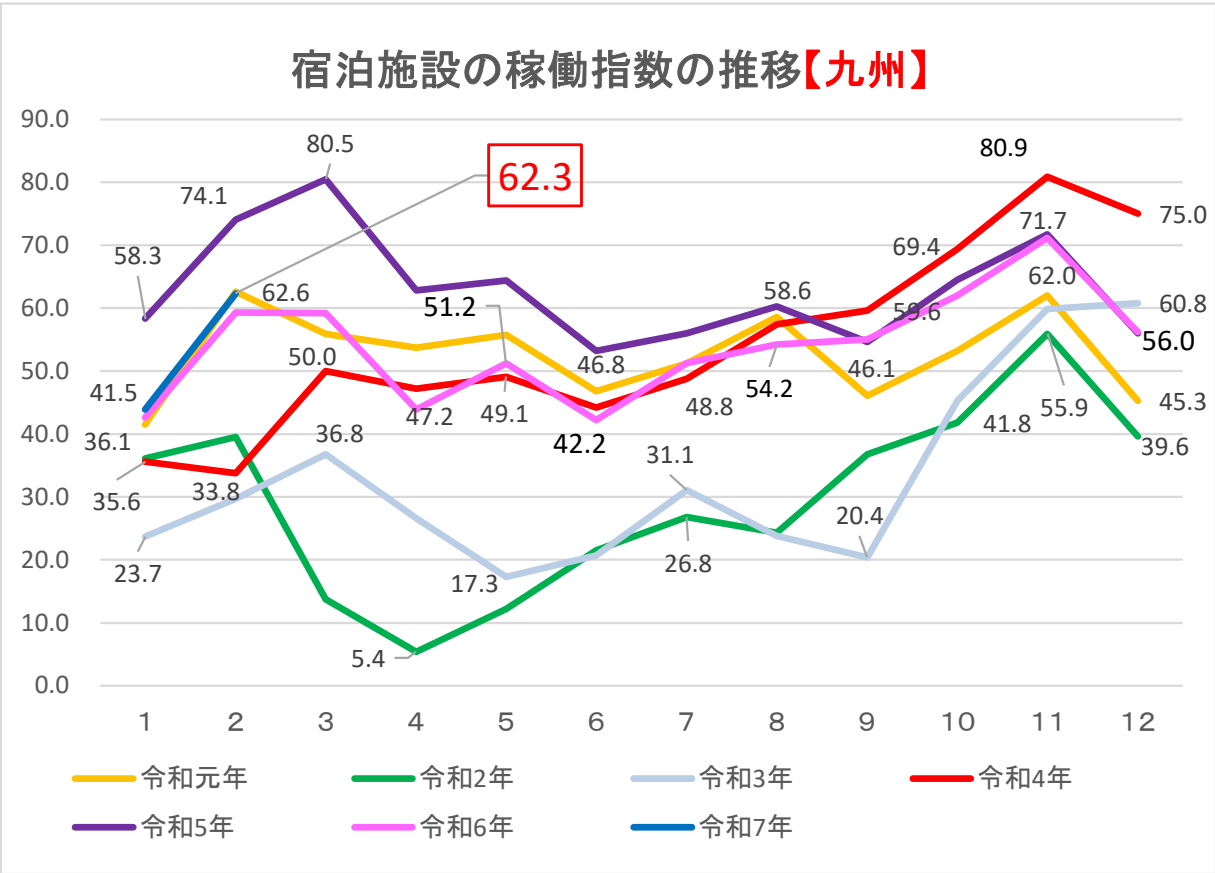


※1 暫定値の確定や追加報告の発生により、過去月のデータに（以前の記者会見時に公表したデータから）修正が生じている場合がある。
 ※2 長距離フェリーのデータは「九州のうんゆ」からの引用。そのため、前月の実績が最新であり、また運送収入については「九州のうんゆ」で公開していないため、掲載していない。
 ※3 同月R6年比は、サンプル数を合わせて算出している。

九州の宿泊施設の状況（稼働指数）

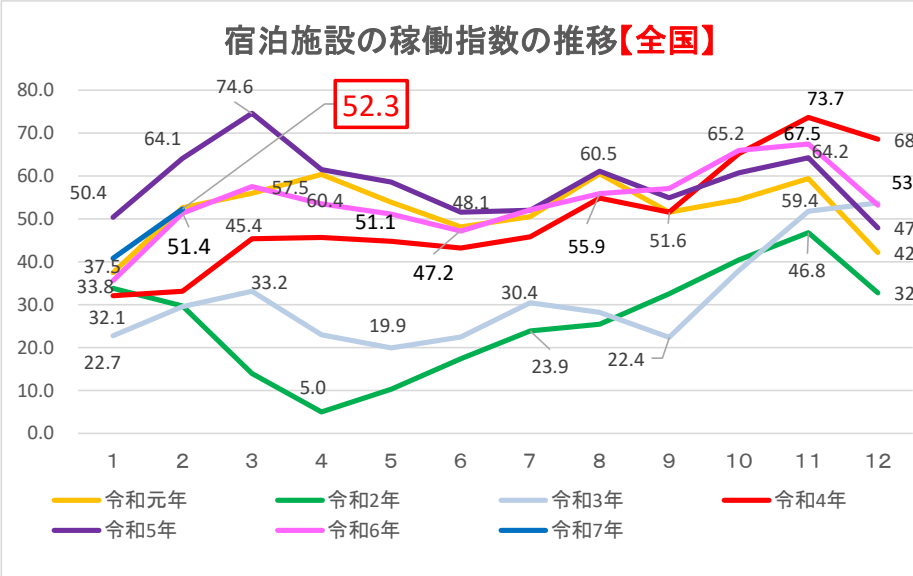
令和7年2月の九州の宿泊施設の稼働指数（稼働状況が良い場合は上昇し、悪い場合は0に近づく指標※）は62.3となり、前年同月と比べ3 pt増加した。
また、コロナ禍前の令和元年同月と同水準となっている。

※公益財団法人九州経済調査協会調べ



宿泊施設の稼働指数【九州各県】

県別	R1.2	R2.2	R3.2	R4.2	R5.2	R6.2	R7.2
福岡	64.5	35.4	21.0	25.3	71.9	62.7	69.8
佐賀	53.9	34.9	51.1	51.9	77.1	54.3	59.0
長崎	62.5	41.1	38.0	37.4	73.4	55.3	50.4
熊本	60.5	41.6	33.4	33.7	71.9	53.3	60.1
大分	54.3	29.0	35.5	46.8	74.2	67.8	54.2
宮崎	76.0	67.7	34.6	44.4	84.7	74.5	76.3
鹿児島	60.9	53.6	34.6	37.0	79.3	56.5	59.5
九州	62.6	39.5	29.7	33.8	74.1	59.3	62.3
全国	52.6	29.7	29.6	33.1	64.1	51.4	52.3



※ 稼働指数の数値は、公益財団法人九州経済調査協会「DATASALAD」による。
なお、平成31年4月以降の算定式は、次のとおり。
$$100 - \left(\frac{\text{当日の空室数} - \text{当日を含む過去730日の最小空室数}}{\text{当日を含む過去730日の最大空室数} - \text{当日を含む過去730日の最小空室数}} \right) \times 100$$